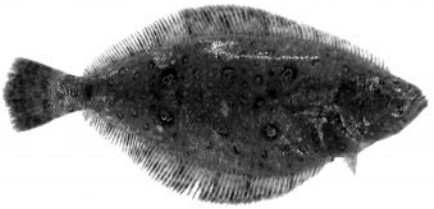
ムシガレイ

日本海海域

Eopsetta grigorjewi

地方名
さいべ、さんとがれい（八戸）、みずがれい、みずくさ、みずくさがれい（陸奥湾、日本海）



生態

①寿命：約7年
②成熟：オス2歳（全長18cm）以上
　　メス3歳（全長21cm）以上
③産卵期：4月～6月
④産卵場：水深100m以浅の砂泥域
⑤分布：北海道（噴火湾、稚内）以南の日本沿岸、台湾、東シナ海
⑥生態：通常は水深200～250m以浅の砂泥域に生息。食性は甲殻類、イカ類、魚類など。

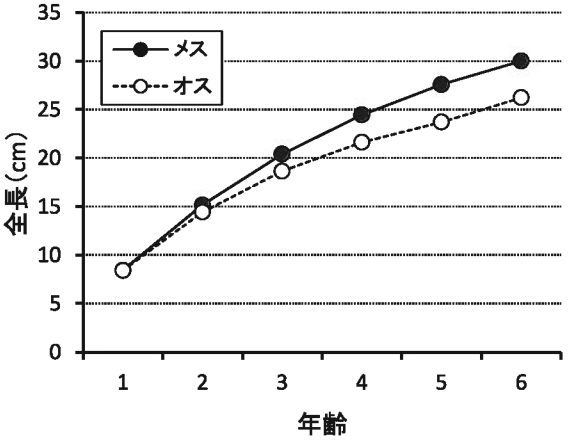


図　青森県におけるムシガレイの成長

主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は4月～5月。2～3歳から漁獲される。

漁獲の動向と資源の水準

青森県日本海側のムシガレイ漁獲量は、平成5年の5トン以降増加傾向が続き、平成25年には平成5年以降で最も多い100トンを記録したが、平成26年は61トンになり平成23年の水準に減少した。昭和40年代には、100トンを超える漁獲量があった。

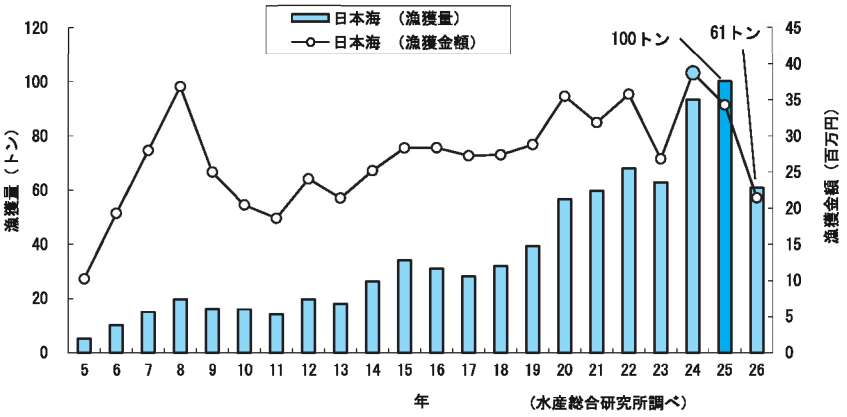


図　青森県日本海海域におけるムシガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

○資源管理計画（日本海海域平成11年3月）
・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合規制（3.5寸以上）の徹底が定められた。
☆上記の取り組みを継続することが必要である。

トピックス

青森県日本海海域で実施した標識放流調査では、本県日本海から秋田県沖を回遊することが報告されている。